

「なりたい！」
という強い気持ちを持ってやるのが、
夢をかなえるためには絶対必要です。

サッカー日本代表
権田 修一 選手

サッカー日本代表ゴールキーパーの権田修一選手にインタビュー。12月21日に権田選手の出身校である弦巻小学校で、児童との交流イベントがあり、その際にインタビューをさせていただきました。ワールドカップでの経験談や、子どもたちへのメッセージを語っていただきました。

Profile

1989年3月3日生まれ。世田谷区立弦巻小学校、弦巻中学校卒業。ポジションはゴールキーパー。2007年FC東京トップチームに昇格し、SVホルン、サガン鳥栖、ポルティモネンセSCを経て2021年より清水エスパルスに在籍。日本代表にも名を連ね、FIFAワールドカップカタール2022にも選出され、日本のゴールマウスを守った。



ワールドカップを振り返って

グループリーグ2戦目のコスタリカ戦は惜しくも敗れ、決勝トーナメント進出が厳しい状況となりました。スペイン戦に向けてチームでどのような準備をされましたか。

正直、精神的ダメージをみんな受けました。とにかく予選を突破するため、僕らはシンプルに、スペイン戦は勝つんだということを中心に話していました。勝つための準備を全員で、本当に強い気持ちを持ってやりました。日本代表の強みは、みんなでしっかりコミュニケーションを取って、本音で話し合いながらチームをつくっていくことです。チームには選手が26人いて、スタッフも入れたら50人くらいいるので、みんな同じ意見ってあり得ないんですよね。それぞれの考え方があって、いろんな方向性に行くんですけども、まずは吉田キャプテンが選手間で集約したことを森保監督に伝えて、最後は森保監督がこの道に進むというのを導いてくれました。

一今回のワールドカップを振り返られてどのように感じられますか。

ベスト8に行きたかったんで、その悔しさが大きいです。どうしたら自分の力でベスト8に日本代表を連れていけたかなということが、ずっと頭をめぐっています。ただ、日本に戻ってきて、いろんな方に、「ドイツやスペインという強豪に勝って本当にすばらしかった、感動した」と言っていたので、個人的にはいろんなプレッシャーに耐えながらしっかり戦えたことはよかったかなと思います。

一プレッシャーを乗り越えるには何が必要ですか。

自分を信じることだと思います。僕もこのままでいいのかなとか、自分で大丈夫かなと思ったこともたくさんありました。自分はずっとサッカーをやってきて、厳しい

練習も、苦しいことも、いろんな我慢もして、今、日本代表という場で戦えています。今まで自分がやってきたことを信じられなかったら、自分が頑張ってきたことを全部否定することになってしまうので、最後は今までやってきたことをしっかり出すという気持ちでした。

元気いっぱい、楽しく！

一自身の成長につながるターニングポイントとなった出来事や試合はありますか。

正直あまりなくて、ただ、小学生のときに自分の今の成長に向けてすごく大事にしていたなと思うのは、よく寝てよく食べることで、風邪も引かなかったですし、体も大きくなりました。ターニングポイントになった試合というよりは、幼少期はまずは元気いっぱいだったことが一番大きいかなと思います。

一子どもの頃を振り返って、権田選手が日本代表の守護神を務めるまでの選手になれた要因というのは、どのようなところにあると思いますか。

まずは楽しくやるが一番大事だと思っていて、やらされてもやっぱり疲れちゃうんですよね。親がワールドカップを見て子どもにサッカーをやらせたいというのではなく、本当に子どもがやりたいというときに一生懸命やらせるという感覚が大事だなという気がします。僕は親からサッカーを強要されたことは一度もなく、逆に、「あなた勉強しないとサッカーを続けられないよ」と言われて、「それなら勉強を頑張る」というタイプでした。



子どもたちみんなに可能性がある

一今後の目標を教えてください。

一つでも上のレベルに行くこと。やっぱりサッカーをやっているからには今よりもうまくなりたい今日よりも明日のほうがいい選手になりたいというのを今までずっと追い求めてきて、これからも追い続けたいと思います。どういうところを目指したいですかと言われたら、行けるところまで行きたいなと思います。ベスト8じゃなくて、ベスト4に行きたいし、さらにその上、ワールドカップで優勝する。優勝するために自分が活躍できるようなレベルまで自分自身も上げたいですし、日本のサッカーというのをそこまで上げたいというのはすごく思っています。

一最後に世田谷区の子どもたちに向けてメッセージを。

僕も世田谷区で育った子どもなので、本当に身近に感じてもらいたいと思っています。みんな子どものときって、サッカー選手を見て、野球選手を見て、パイロットを見て格好いいなと思ったり、夢がそれぞれあると思います。僕もみんなと一緒に子どもの頃はそういう夢を追いかけていた一人でした。こうやって同じ町で育った僕がサッカー選手になれたのだから、みんなにも可能性は絶対にあります。自分で、無理だよと思わないでほしいと思います。まずは一生懸命やってみる。周りから何でそんな一生懸命やっているのと言われても、俺はなりたいからという強い気持ちを持ってやるのが、夢をかなえるためには絶対必要だと思います。世田谷区から世の中で頑張ってる人がたくさん出てきたらうれしいですし、その可能性がみんなにはあるので頑張ってください。そして楽しんでください。